交通広報

令和３年６月
長崎警察署

雨天時運転の注意点を知っておこう!

雨の日は視界が悪く、路面も滑りやすくなります。そのため、交通事故の発生率が高くなりがちです。次の点に気をつけて、安全運転に努めましょう。

①車間距離を十分とり、スピードは控えめに！

雨天時は路面が濡れて滑りやすくなり、晴天時に比べると制動距離が長くなります。前車との車間距離を十分に保ち、速度を落として早めのブレーキを心掛けましょう。

～ハイドロプレーニング現象～

濡れた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水膜ができ、ハンドルやブレーキのコントロールができなくなります。

②急発進、急ハンドル、急ブレーキはＮＧ！

急発進、急ブレーキ、急ハンドルなどの運転操作は、スリップ事故や横転事故の原因となり危険です。

雨の日は道路が渋滞することもあり、イライラ感や気持ちの焦りが出てしまいがちですが、心を穏やかに保ち、安全運転を心掛けましょう。

③車のメンテナンス、大丈夫？

＊ワイパーのゴム（劣化していると水を拭いきれず視界が悪くなる。）
＊タイヤの溝（摩耗しているとスリップ事故の原因となる。）
定期的に整備を行い、安全な車に乗りましょう。

④歩行者等の近くでは、泥や水はねに注意！

道路の水たまりやぬかるみを通行するときは、付近の歩行者等に泥土や汚水が飛散しないよう気を配り、徐行するようにしましょう。

ほかにも・・・
マンホールや路面電車のレールの上などは特に滑りやすいので慎重に運転しましょう。
また、昼間でもライトを点灯し、周囲の車から見落とされないようにしましょう。